

がんばろう 南三陸町 復興第54号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所
千葉総合印刷株式会社
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068
志津川広報センター
企画・編集 千葉伸孝

上田市野球スポーツ少年団が来町し 南三陸町で交流会



夏休みに入った7月29日～31日(2泊3日)まで、長野県上田市から野球スポーツ少年団の30名が来町した。

29日の午前7時に上田市を出発し、午後4時に到着する9時間の長旅だった。南三陸町の歌津地区の「平成の森」で入所式が、関係者の歓迎の元で開催された。

野球交流の開会式では、「南三陸町へようこそ！」体育協会の皆様に感謝します。仙台市の八乙女小からも参加いただき、「良いプレーを期待します」と、町体協阿部副会長が歓迎の挨拶をした。続いて上田市体協のあわら副会長は、「昨年は歌津地区から伊里前のブルーオーシャンズが来てくれ、交流試合と別所温泉で楽しんでもらった。」「夕風を食べて一生懸命に感謝しながらガンバリましょう！」と応えた。

8時半からの開会式の後で、上田市と名足小の第一試合が始まった。その他に志津川スポ少と八乙女野球スポ少との5試合が予定されている。

好天に恵まれ、体調に注意し頑張りたいと思う。交流団の団長は子供たちの笑顔が広がり、震災からの復興の子供たちの支援交流会だと話す。

夜は、志津川湾花火大会を鑑賞する。9時間の長旅を感じさせない、子供たちの元気な声が、しおかせ球場に響いていた。



レベルの高い当地方の剣道に 温かい多くの拍手！



第36回気仙沼・本吉地方スポ少剣道の部が、8月28日歌津中学校で開催された。

「勝つか、負けるか、超越した所を味わう事を大切にしてほしい」と、気仙沼・本吉剣道スポ少会長は話す。

小学校は南気仙沼剣道が圧倒的な強さで団体優勝した。志津川剣道は1回戦を南少剣Aと対戦し、0対5で完敗した。中学生は唐桑剣道がA・Bチームともベスト4に入り、決勝では歌津の道合剣道との熱戦を制し、道合剣道が接戦の末に代表戦でメンで1本を取り優勝した。道合剣道は4人での団体への出場ながら、個々の

選手の強さがきわだった。剣道少年人口の減少が、当地方にも表れている。

個人戦は志津川剣道スポ少の三浦選手が、小学生高学年2位に入り、優勝は南少剣の吉田選手だった。小学生は男女一緒の個人戦ながら、女子が勝利した。低学年は鹿折剣道の小野寺選手が優勝した。中学女子は鹿折剣道の阿部選手で、男子は唐桑剣道の山本選手がメンの一本勝ちで勝利した。

総ての試合を観戦して、気仙沼地方のレベルは県内でも上位に名前が入り、最後の勝ち負けは個人の普段の練習の成果の現れと思う。地域の剣道指導者の人数と質もその中にはある気がする。指導者も長く少年剣道の経験者が多い所が、着実に上位に入っている。伝統を歌津地区は受け継いでいる。道合・雄飛は二つの地区で互いに練磨し、その二つが中学校で一つになり、更にその強さを増し、県大会で強い時代は女子の優勝と、男子の上位入賞を果している。



個人戦で中間の活躍をねぎらう

被災地から南三陸町の剣道の伝統を、人口減で生徒が減少をしても維持しているのは、地域の連携と意地の賜物と私は思っている。

種目別交流大会剣道の部 結果

- 小学生低学年の部
優勝 小野寺悠斗(鹿折) 2位 畠山夢那(鹿折)
- 小学生高学年の部
優勝 吉田泰翔(南少) 2位 三浦誠矢(志津川)
- 中学生女子の部
優勝 阿部愛華(鹿折) 2位 秩父梨緒(唐桑)
- 中学生男子の部
優勝 山本 楓(唐桑) 2位 千葉聖音(道合)
- 小学生の部 団体戦
優勝 南少剣Aチーム 2位 鹿折剣Aチーム
- 中学生の部 団体戦
優勝 道合剣道 2位 唐桑Aチーム

志津川剣道スポーツ少年団 小学生募集中！

子供たちの頑張りに 大人も負けないで！

志津川地区本浜町の 「七福神舞い」復活！



「第6回三陸海の盆 in 南三陸町」で、夕方5時10分から本浜町に伝統郷土芸能として継承されてきた「七福神舞い」が、震災から復活した。

「三陸海の盆」は、東日本大震災で亡くなった人たちの供養と、被災地の人々を支援する人々が、震災を風化させる事無く、早期の復興を目指す思いを共有させる場として催された。震災の慰霊・追悼の被災地の願いを芸能に託し、被災地を北の大槌町から大船渡・気仙沼と南下し、6回目として南三陸町での開催となった。

南三陸町の開催では地元、行山流水戸辺獅子踊・大森黒潮太鼓の演技に続き、本浜町の七福神舞いの復活の演技を待った。多くの人たちが演技を映像として残す姿が見受けられた。本浜町の地区民が再生の一步として「七福神舞い」があると思っていた。コミュニティーの再建の手段として考えていた「七福神舞い」は、本浜町から志津川地区の復興の郷土芸能となった。

復活できたのは、南三陸町の志津川地区の5つの神社の青年部が結成され、震災で無くなった地区の郷土芸能の復活にあたった。完成度は高く綺麗なものであった。

紹介では本浜町七福神舞い保存会の会長佐藤良治氏、荒島神社宮司工藤佑允氏、本浜町の町の元教育長だった阿部清敬先生が、地区の伝統芸能の中心で活動し、地区民が一丸となり子から老人までが参加し、七福神舞いを創り上げた。しかし、震災後に三氏は逝去し、芸能の継承の再生は厳しいものとなった。

保存会は津波の前の年に休会となり、次の年の3月11日にあの東日本大震災に見舞われた。何と皮肉な結果だろう。七福神舞いを神社に奉納しなかった翌年に、大震災が発生した。偶然にして余りにも厳し過ぎる自然災害と感じた。

地区の解散時に本浜町の若者達に祭りの再建を託し、地区民みんなで資金を寄付した。今回は地区民に七福神の復活の発表を伝える案内を30数軒送り、3軒が返って来たと言う。今後、多くの地区民が仮設から住宅再建や災害復興住宅入居し、生まれ変わった「七福神舞い」になつかしき本浜町に触れ、旧志津川町本浜町の隆盛時代に夢馳せるだろう。

三陸海の盆では、「復興市」「かがり火祭り」「花火」が夜祭として開催された。多くの観客が志津川地区の伝統郷土芸能を満喫した。今後は本浜町の祭りから、町の祭りに、新しい志津川地区の芸能として、将来に繋げて欲しい。

勇気を出して連絡下さい。
婚活・恋活事業
南三陸町から結婚した～い！
 南三陸町・登米市・石巻市などから会員あり
女性(男性)会員募集中！
 明るい南三陸創造の会
 TEL 080 - 1801 - 6399(千葉)

ご会葬御礼
 母 宮子儀 が八月十六日に九十三歳の長寿を全うし永眠いたしました。
 ここに生前のご厚誼に対し深く感謝し、皆様方の心温かい弔意に対し御礼を申し上げます。
志津川広報センター
 代表 千葉伸孝
 (南三陸マイタウン情報)

ご会葬御礼
 妻 千葉 宮子儀 死去に際してはご鄭重なるご弔問ご芳志を賜り又葬儀にはご多忙中にもかかわらず、熊々ご参列ご会葬くださいましてありがとうございます。
 お陰様で諸事万端滞りなく相済みました。就きましては、一々拝すうのうえ御礼申し上げます。紙上をもって厚く御礼申し上げます。
 平成二十八年八月
 南三陸町志津川字沼田一五〇一八四
 喪主 千葉 賢二郎
 男 千葉 伸孝
 男 千葉 真実
 男 千葉 言行
 親戚代表 文生
 他親戚 一同

千葉総合印刷株式会社

未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

平成28年(2016年) 5月の出来事
～ 地元報道より～

南三陸町

◇気仙沼・本吉地方の今季のワカメ入札が終了し、24年以来の最高値となった。総数量は1529トンで金額は14億9700万円だった。最高値は3月末の1万3892円で、平年の1.6倍となった。

◇14年前の志津川で発生した「夫婦強盗殺人事件」の、犯人逮捕の協力、呼びかけを、南三陸署は3日におこなった。

◇南三陸町では国際認証(FSC)を得た南三陸産材を町の本庁舎や支所建設に採用する。これにともない役場内において、使用する南三陸産材のショールームを設置した。歌津支所は50%以上を使用する。国内公共施設では初となる。

◇南三陸町は長野県原村と災害時の相互応援の協定を6日締結した。これで5自治体目となる。

◇南三陸町歌津の「しおかぜ球場」の改修工事に甲子園と同様の土を使用し、芝張り替えなど3千万円を計上し、来春には完成する。佐藤仁町長は昭和44年に仙台商業の遊撃手として甲子園に出場している、町長のアイディアによるものだ。

◇伊里前川のシロウオ漁が最盛期を迎えた。河口の工事もあり、漁期が例年より1ヵ月遅れたものの、漁獲量は昨年並み。踊り食いやかき揚げで、地区民は旬の味を楽しんでいる。

◇宮城県南三陸教育事務所(気仙沼)では、不登校児童・生徒に対応すべく、指導員の資質の向上へ力を入れる。県内の26年度の不登校は小

学校501人、中学校が190人と、震災前の22年度と比べ、小学生が2割、中学生は1割増加している。

南三陸町の人口海水浴場「サンオーレ袖浜」の災害復旧工事の安全祈願祭が、11日関係者30人が集まり開催された。浜の賑わい再びと、本年11月完成を目指す。来夏の観光振興の期待に町民は胸をふくらませる。

◇佐藤仁町長は14・15日と町職員1人を同行させ、熊本震災の益城町を訪問する。町から20万円、町民からの20万円の計40万円を益城町と県庁に20万円ずつ贈る。東日本大震災後に熊本県から保健師の派遣を受けている。

◇13日の臨時町議会で、新魚市場開設に向け町条例の一部を改正し、卸売業者事務所の使用料を月額6万2千円に設定した。新魚市場は6月1日から共用を開設する。その他10議案を原案可決した。

南三陸町の名物「キラキラ丼」が、1日千食売れる日もあり、うに丼が好評だ。

◇「地域おこし隊」の初めての取り組みに、関東地域から移住する3名に委嘱状が交付された。新しく生まれる南三陸町の力になってと期待されている。活動費は月額1人16万円での特別交付金を利用する。

◇南三陸町は毎月はじめの広報の配布の他に、月中に復興情報などの発信として、5月15日から「広報お知らせ版」を発行する。A4・2色刷りで5500部を配布する。

◇宮城県漁協志津川支所戸倉出張所かき生産部会の、海のエコラベルといわれるASC認証の伝達式がホテルで行われた。自然を守り持続可能な管理をする水産物に与えられるもので、世

界29カ国250件が認証を受けている。志津川産養殖ガキのブランド化へ前進した。
◇南三陸町と気仙沼市は第15次の復興交付金、合計で60億円を復興庁に申請した。
◇南三陸町図書館では、昭和35年5月24日発生した「チリ地震津波」の写真や新聞などの資料展を開催する。

気仙沼・本吉広域消防署は、4月16日午前3時20分ごろ戸倉波伝谷漁港で、仙台市の男性が釣りに来ていて誤って海に転落した。漁港で作業をしていた県漁協志津川支所戸倉出張所かき生産部会の7人が救助した。南三陸消防署はかき生産部会に感謝状を贈った。

◇台湾の三育高級中学校の生徒10人と教師2人が、志津川高校を訪れ生徒間の交流会を開催した。台湾の中学生は日本に興味を湧かせたと、出会いを記念してプレゼントを交換した。

◇20日歌津平成の森「しおかぜ球場」で、ナイター野球が開催された。今年も計6チームの総当たり戦が7月まで繰り広げられる。

南三陸町歌津の国の天然記念物指定の「ウツギョリユウの化石」が、全国47都道府県を代表する「県の石(化石の部)」に認定された。魚竜館再建に大きな弾みとなる。

◇24日南三陸町入谷岩沢の畑で、クマの足跡が見つかった。

◇気仙沼法人会は、社会貢献5団体を表彰した。大賞は「南三陸復興ダコの会」が受賞した。

◇南三陸病院でチャリティーコンサートが26日開催された。演奏はバンクーバー交響楽団終身名誉コンサートマスターの長井さん夫婦と、6人の親類が音楽で被災地を元気にしたいと開いた。

南三陸町と気仙沼市の復興の進捗と問題を比較して見れます。

気仙沼市

◆気仙沼市議会は市民に「予算に意見を聞かせて」と、24日から18会場で報告会を実施する。

◆気仙沼市本吉町の大谷「3丁目網」で30日、6年ぶりの初起こしでサバを中心に3.7トンの水揚げに沸いた。

気仙沼市の「ふるさと納税」は、寄付額が減税分を上回り、5200万円の黒字となった。『27年度のふるさと納税は、8563件、1億3391万円』

◆気仙沼市では、14日から徳仙丈山「つつじバス」を運行する。

◆9日午前6時30分気仙沼市立病院脇の住宅152㎡と倉庫を全焼した。

◆気仙沼市の29年度以降の応急仮設住宅について、10日代表者会議があり、事情のある世帯ごとに延長する事とした。現在は入居6年目となり、次年度の7年となっても厳しい家庭状況を考慮していく。

◆気仙沼市の災害公営住宅で、空き室が全体の1割となっている。全体で1764戸の建設で、1533戸が入居又は確定となり、募集戸数は231戸にのぼっている。

◆気仙沼市の防集団地で、フェンス設置への補助金に条件・割合などの制度検討の方針を示

した。

◆本吉町小泉で、ボランティアの協力により、震災による行方不明者の捜索が行われた。

◆気仙沼市の「落合直文会」は、熊本地震の南阿蘇村の復興へ募金活動を始めた。落合の「孝女白菊」の作品の舞台となり、交流を深めていた。

◆気仙沼市港町の防潮堤について、気仙沼市は起立式(フラットゲート)の採用を求めているのに対し、県はアクリル窓を設置し、湾内の採用はあくまで特例としている。住民の景観対策を重視して提案している。菅原市長は住民の意向にそうように、県に直接談判する事を示している。

◆気仙沼市の仮設住宅入居率が62%で、再建な

どで退去が続いている。今後は防犯やコミュニティの対策が課題となっている。4月末の人口は66249人で前月比81人が減少した。

◆気仙沼市内の買い取り被災地の3割が、その用途が決まっていない。活用の半分が公共用地で民間利用は0.4%にとどまり、活用に制度の縛りがある事も要因の一つとなっている。

◆気仙沼市の「高齢者交流サロン事業」が好評だ。昨年度は29団体が活用した。本年度は介護予防などサロンの活動が拡展開を図っていく。現在は開設団体を募集している。

◆気仙沼水産試験場の小型船「海翔丸」が、太平洋を5年漂流し沖縄県宮古島沖で見つかった。

《住宅再建移転見本》

住所移転のお知らせ
謹啓 残暑の候 御家族皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。この度左記の住所に移転致しました。地元での再建を目指し、志津川東地区西工区を今後の安住の地と決め、住宅再建を進めてきました。お陰様で過日の引き渡しとなり、引越しも無事に終えました。東日本大震災の大混乱の中で、皆様からの心温かいお励ましや物心共々のご支援をいただき、南三陸町での再出発をいたしました。これも偏に多くの方々のお陰と心より感謝致しております。今後とも、今までのご指導と心より感謝致しております。失礼ではございますが書中にて御礼と転居の挨拶にかえさせて頂きます。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。敬具
平成二十八年九月
新住所 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田〇〇〇
宮城花子
旧住所 宮城県本吉郡南三陸町志津川字本浜町〇〇

《公営復興住宅移転見本》

住所移転のお知らせ
謹啓 残暑の候 御家族皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。この度左記の住所に移転致しました。南三陸町での生活再建を目指し、志津川東地区の公営復興住宅を今後の安住の地と決めました。お陰様で過日の引き渡しとなり、引越しも無事に終えました。今後とも、今までのご指導と心より感謝致しております。失礼ではございますが書中にて御礼と転居の挨拶にかえさせて頂きます。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。敬具
平成二十八年九月
新住所 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田〇〇〇
宮城太郎
公営復興住宅〇棟〇〇〇

《千葉印刷(株)案内図》



千葉総合印刷株式会社 ☎(0226) 46-3069